

令和3年度 地域創生総合支援事業の 成果発表

令和4年1月

遠野紙子屋/遠野和紙
平山 祐

自己紹介

遠野紙子屋代表 平山 祐/綾子

- 2018年10月よりいわき市遠野町に移住。
2021年3月に協力隊任期満了。
5月より遠野町にて『遠野紙子屋』をOPEN。
紙漉き業のほか、中学校スタッフ、移住コーディネート
コミュニティースペース作り、など。





事業の内容・目的

『遠野和紙』の技術継承と発展

- 和紙製作技術習得
- 和紙体験等の実施
- 和紙製品製作
- 和紙先進地視察
- SNS等を活用した発信





事業実施のきっかけ

地域おこし協力隊時代

(2018/10～2021/3)

和紙業界自体が衰退傾向にあり、遠野和紙の認知度もまだまだ低く、地域の伝統工芸品として、いわき全域で認知して頂くには至っておりません。そのため、地域おこし協力隊として2年半の活動実績がある自分自身が広告塔になり、様々な体験活動を通して和紙に触れて頂く機会を作りたいと思いました。



事業実施の様子

技術習得



製品製作



先進地視察

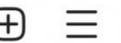


体験実施



S N S

tohno_washi ▾



[プロフェッショナルダッシュボードを見る](#)



365
投稿

814
フォロワー

280
フォロー中

遠野紙子屋/遠野和紙 Tohno Washi
いわき市遠野町産の原材料を使用し、紙漉きを行っています🌿
情報発信やイベント告知を行っています🐱... 続きを読む
tohnowashi.com/
972-0251 Iwaki, Fukushima 福島県いわき市遠野町入遠野
字前田45-10

事業の成果・課題

成果

事業実施による和紙の日常的な販売により、一般の消費者の方々に手に取って頂ける機会が増えました。また、いわき市遠野町は中山間地域であり、人口減少が進んでいる事も課題になりますが、遠野和紙体験などを実施した事により、来ていただける機会をつくる事ができました。

課題

和紙作業やイベント運営における人手不足。

販促ルートの開拓。

ネット販売等のノウハウ。



今後の展望

- ・新たに絵と和紙を活用した教室やYouTubeを用いて、若い世代の方にもPRし、人材発掘・育成につなげる。
- ・いわき市内などの企業や飲食店とも積極的にコラボして商品開発なども行う。
- ・遠野町産原料を使用した和紙と輸入原料を用いた和紙と差別化し、大量生産や価格帯にも対応する。
- ・遠野和紙を市内ツアーなどにも組み込み、観光業でも周知する。





ご清聴ありがとうございました！